ＮＶＡニュース

No.３７０　　2020.1.1 発行

一般財団法人長野県バレーボール協会
発行責任者　村上　里志

〒399-0703　長野県塩尻市広丘高出 1556-7
TEL：0263-87-7927　FAX：0263-87-7928

新年にあたって

会長　船木正也

2020年の年が明けました。

令和という時代に移り変わり、新年の始まりと共に、いよいよ本格的に未来に向けて日本中が動き始めています。

今年最大のイベントといえば、それは間違いなく7月24日に始まる「東京オリンピック」、そして8月25日に始まる「東京パラリンピック」でしょう。その時に向けて、日本中がスポーツ競技に関心を高め、そして改めてスポーツの素晴らしさを体感するに違いありません。

わたしたち長野県バレーボール協会も、その国民的な高揚感と無縁ではなく、それを後押しすると同時に、人々のスポーツに対する関心の高まりを如何にバレーボールの方向に向けてもらえるか、併せて考えていかなければならないと思います。

東京オリンピック・パラリンピックでは、「競技を見る」ことに始まり、「大会運営に参加する」価値観が広まり、そして多くの人々が「スポーツ競技を始める」きっかけとなるはずです。

1964年東京オリンピックでの「東洋の魔女」の金メダルをきっかけとした人気向上を例に引くまでもなく、バレーボールは日本人にとって最も文化的に浸透したチームスポーツだと思います。そして、長野県はどこよりもバレーボールが身近にある土地柄です。

こうした環境を長きにわたって育ててこられた先人たちのご尽力を忘れることなく、次なる時代に向けて長野県のバレーボールを情熱と組織力で更に前進させなければと実感しています。

Vリーグでは、男子のVC長野トライデンツ、長野☆GaRons、女子のルートイングホテルズ・ブリリアントアリーズが長野県の希望を背に、頂点を目指して闘っています。

また、小・中・高・大学・実業団・クラブ・ママさんなど、誰にでも開かれたスポーツであるバレーボールは、インドア6人制・9人制、ビーチ、ソフトを含めて、日々前向きに活動が行われています。

この大きな潮流を、2027年に予定されている「ながの国体」につなげるべく、夢に向かって挑戦するチームをしっかり応援していきながら、選手の育成と強化を図らなければなりません。

更には「若者の健全な人間形成」「健康長寿に貢献する生涯スポーツ」「地域コミュニティーの活性化」といった、社会的貢献への期待にも応えていきたいと思っています。

これら幾つものテーマを解決していくためには、年間を通して数多くの大会運営にご尽力されている協会関係者や、大会ごとにご協力を頂いているボランティアの皆さんを含め、多くの皆様のお力添えがなければ、決して前に進むことはできません。

この場をお借りして、皆々様の益々のご協力をお願い申し上げますと同時に、長野県のバレーボールが更に活発になる事、そして様々な競技会に出場される全てのチームの皆さんが大活躍されます事を心よりお祈りまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

以上

JOCジュニアオリンピックカップ 第33回全国都道府県対抗中学バレーボール大会

女子は決勝トーナメント１回戦敗退 男子も16強止まり

【県強化委員　木下久資・安藤利長】

今年の男子は、身長には恵まれないものの、レフトやライトに入った中型のサイドアタッカーの巧さと機動力に活路を見出すバレーでした。グループ戦の相手は青森県と京都府。直前にセンター２人が怪我をした影響もあって、特にミドルのクイックが機能せずで、初戦の青森戦こそセットカウント２－１で競り勝ったものの、京都戦ではサイドアタッカーが徹底マークに遭い、３セット目を逆に 13－15（大会特別ルール、３セット目 15 点制）で落とし、グループ２位通過となりました。

決勝トーナメント１回戦の相手はコート第１試合で北海道。平均身長で大きく上回る相手でしたが、前日とは打って変わって攻撃のコンビネーション冴え、相手ブロック網を翻弄して２－０で快勝しました。

続く２回戦は第５試合。試合間が長かったのが影響したのか再び攻撃の歯車が少しずつ狂い始め、逆に相手の鹿児島県には、長野のディフェンスの弱点を的確に突かれ、第１セットを 22 点で競り負けると、第２セットもレシーブで粘り反撃するもデュースに持ち込むのが精一杯。悔しい敗戦となってしまいました。

一方の女子は、予選グループ戦の相手は北海道と島根県。初戦の北海道戦は、硬さからか第１セット序盤からサーブレシーブが崩れ、試合を通して波に乗りきれずに０－２の敗戦となりました。後がなくなった島根戦。負けられないプレッシャーからか、第１セットを 20 点で落としてしまいました。しかし、ここから吹っ切れた選手達が躍動。サーブレシーブが安定して攻撃もサーブも効果的に機能し、10 点で第２セットを取ると、３セット目は相手にリードを許す苦しい立ち上がりでしたが、粘って終盤に追いつき、最後は 15－12 で勝利。グループ２位で決勝トーナメントに進みました。

決勝トーナメント１回戦は茨城県。前日とは打って変わってサーブレシーブが安定し、１セット目は、終盤までリードする展開となりましたが、相手エースの強打が決まり出すと 24 点で追いつかれ、このセットを 25－27 で落としてしまいました。続く第２セットは、サーブが効果的に決まり、両エースやライトの強打等でこのセットを奪い返しました。勝負の第３セット、序盤サーブレシーブが崩れてリードされると、その点差を詰め切ることが出来ず、終盤主将でエースの小嶋が、負傷しながらもコートに立ち続ける奮闘を見せたものの、力及ばず１回戦敗退となってしまいました。

今年の女子は、過去のチームが常にテーマとしてきた「高速コンビバレー」から、「個が考えるバレー」への挑戦でした。男子も、松本国際高校を彷彿とさせるようなコンビネーションバレーに挑戦しました。選手達のバレー人生は未だ始まったばかりです。この経験を活かして、次のステージで頑張って欲しいと思います。

最後になりましたが、御支援頂きました読売新聞社様、そして県内各高校の皆様に御礼を申し上げます。

J2019-20 V.LEAGUE Division1 MEN 松本大会

ＶＣ長野トライデンツにリーグ上位チームの壁が立ちはだかる

【松本協会副会長　白澤保久】

ＶＣ長野トライデンツ（以下「ＶＣ長野」）のホームゲームが、12 月７日（土）・８日（日）に松本市総合体育館で行われました。ＶＣ長野は前節、伊那市で当面のライバルである大分三好ヴァイセアドラーに勝利し、今節は内定選手も加わった上での上位チームへの挑戦という位置づけでした。

対戦相手は、12 月初旬現在、リーグ１位を走るジェイテクトＳＴＩＮＧＳ（以下「ジェイテクト」）と３位のＪＴサンダーズ広島（以下「ＪＴ」）。ジェイテクトには、先のワールドカップで日本中を沸かせた西田有志や本県出身の浅野博亮（安曇野市・長野日大高校卒）、小林光輝（小布施町・創造学園高校（現松本国際高校）卒）、柳澤広平（松本市・同左）が所属するとあって、入場券の前売り人気も上々でした。尚、小林は先のユニバーシアード大会の主将として好成績を挙げ、今期からジェイテクトに加入して、今リーグでも好トスから西田らの強力アタックを引き出して好成績の原動力となっています。

ＶＣ長野は、７日（土）のＪＴ戦は、１・２セットとも前半は粘ったものの後半押し切られ、セットカウント０－３の敗戦でした。

８日（日）のジェイテクト戦は、前日の入場者数 3,200 人を上回る 4,400 人という松本大会最高の観客が来場する中、ジェイテクトは前述の小林が先発出場し、高さのあるアタッカー陣を操ってゲームを支配しました。各セットの終盤には浅野・柳澤も出場し、ワールドレベルの好プレーに会場は大いに盛り上がりました。一方ＶＣ長野は、本県出身の栗木や今期加入のパトリック・池田のアタック等で粘りを見せましたが、ジェイテクトの壁は高く、セットカウント０－３の敗戦でした。

今後ＶＣ長野は、リーグ後半に向けて正念場を迎えますが、新たに加わった内定選手も含め、チーム一丸となって頑張っていくと思いますので、さらなる熱い応援を送りましょう。

V.LEAGUE DIVISION2 WOMEN 2019-20

ルートインホテルズ Brilliant Aries ホームゲーム初勝利！

【うえだ協会理事長　青木高志】

12 月 14 日（土）～15 日（日）、上田市自然運動公園総合体育館においてルートインホテルズ Brilliant Aries の２回目のホームゲームが行われました。

開幕戦３連敗の後、６連勝と勢いに乗ってホームゲームを迎えました。勝利を信じる地元応援団の大声援の中、14 日はＧＳＳ東京サンビームズ（本県裾花中学校出身の中條美月選手が所属）に屈しましたが、15 日は山形県を本拠地とするアランマーレに勝利し、ホームゲーム初勝利を飾りました。

12 月 15 日現在、７勝４敗で第３位につけており、今後も上位を目指す活躍が期待されます。

競技団体理事長・競技力向上専門委員会合同会議（国体種目）報告

【県強化委員長　鏡味照明】

標記会議が 12 月 13 日（金）13 時 30 分より長野県スポーツ会館会議室に於いて開催され、当協会からは村上専務理事と強化委員長の鏡味が出席しました。

冒頭、県スポーツ協会林理事長より「2027 長野国体の会場地が徐々に決定されてきている中、競技によって実状・現状は異なるが、各競技団体の忌憚のない意見を出していただき、チーム長野として国体を迎えられるように準備をお願いしたい」とのお話があり、次に内山競技力向上委員長からは「茨城国体のバレーボール少年男子を視察した際、監督・選手・保護者・協会関係者が一体となり戦っていた姿に感動した。また、県も国体に向けて強化費が増額されてきている。すぐに結果は出ずとも、今後の各団体の取組に期待したい」とのお言葉をいただきました。

その後の報告事項では、県スポーツ協会より、今年度の北信越・本国体の結果を分析すると、長野県の北信越突破数は最下位であるが１位通過種目が多く、本国体では北信越他県よりも入賞数が多かったこと。団体種目での入賞が昨年よりも少なく得点が伸びなかったことなどが報告されました。

また、協議事項では、令和２年度の競技力向上対策基本方針案が提示され、2027 年国民体育大会を見据えた取り組みとして、特にジュニアの競技力向上事業の充実を図ることが示されました。

研究協議では、「本県競技力の現状と 2027 年国体に向けた競技力向上対策」を解り易く説明していただきました。少子化が進む中、拠点地域の整備やレベルの高い指導を受けられる環境づくりなど、時代やニーズに即した取り組みの重要性を感じました。

最後に、「各競技団体が抱える課題に対しての活動を援助していけるように県としても取り組んでいきたい」と力強いお言葉をいただいて終了しました。

北信越バレーボール連盟組織団体運営会議 及び ＪＶＡ加盟団体運営部との意見交換会を上田市で開催

【県総務委員長　赤間善浩】

令和元年 12 月９日（月）、北信越連盟役員と各県正副理事長・専務理事による会議を上田市で開催し、次年度事業等を協議しました。この会議に併せて、ＪＶＡ加盟団体運営部の渡邉圭太郎氏との意見交換も行いました。

北信越連盟各県からＪＶＡへの主な意見･要望として、
① ＭＲＳシステムの解り易い周知
② バレーボールの魅力と人気の向上、競技者人口の拡大
③ ９人制バレーボールの国体競技への復活等々
を伝えました。

ＪＶＡの渡邉氏からは、各地域の課題を収集し、ＪＶＡ内において情報共有・課題整理を行うとの返答がありました。

他競技に負けないよう、バレーボールの活性化と発展に向け、皆さんと一緒に取り組んで行きたいと思います。

12月 試 合 結 果

☆　第 89 回全日本９人制総合男子選手権大会
☆　第 88 回全日本９人制総合女子選手権大会
　　http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2019siaikeka/R1.12.1_9jiti_zenkoku.pdf

☆　2019-20 V.LEAGUE Division2 MEN（11/30～12/1　GaRons）
　　https://www.vleague.jp/form/a/25466
　　https://www.vleague.jp/form/a/25470

☆　2019-20 V.LEAGUE Division1 MEN（12/7～8　VC 長野）
　　https://www.vleague.jp/form/a/25230
　　https://www.vleague.jp/form/a/25234

☆　2019-20 V.LEAGUE Division2 WOMEN（12/14～15　ルートインホテルズ）
https://www.vleague.jp/form/a/25608
https://www.vleague.jp/form/a/25611

☆　JOC 第 33 全国都道府県対抗中学バレーボール大会
http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2019siaikeka/R1.12.28joc.pdf

1 月 スケジュール

1/5(日)～12(日)	第 72 回全日本バレーボール高等学校選手権大会	(東京都)
1/11(土)～12(日)	北信越バレーボール連盟 審判委員長会議	(富山県)
1/15(水)	信濃毎日新聞社 長野県文化・芸術・スポーツ団体 新春パーティー	(松本市)
1/18(土)～19(日)	2019-20 V.LEAGUE Division2 MEN (GaRons)	(須坂市)
1/18(土)～20(月)	長野県高等学校新人体育大会バレーボール競技会	(上田市)
1/21(火)	長野県スポーツ協会 第 3 回総務専門委員会	(長野市)
1/25(土)	2019-20 V.LEAGUE Division2 WOMEN（ルートインホテルズ）	(千曲市)
1/25(土)～26(日)	エプソン杯第 35 回長野県中学校選抜優勝大会	(松本市) (安曇野市)

県協会事務所移転のお知らせ

諸事情により、県協会事務所が下記のとおり移転いたします。

☆移転先住所　　〒399-0714　塩尻市堀ノ内２－２

☆移　転　日　　令和２年１月 11 日（土）

※電話・ＦＡＸ番号、メールアドレスの変更はありません。

いつもNVAニュースをご覧いただき有難うございます
皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします
本年もどうぞ宜しくお願いいたします

ＮＶＡニュース編集委員会
村上里志、赤間善浩、木下久資、堀内和美